

民主化闘争情報

No. 898
2013年11月26日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

JR北海道で11月20日苗穂工場支部に勤務する21歳と23歳の青年2名が平和共存否定方針を掲げるJR北海道労組（北鉄労）を脱退し、JR北労組に加入した。

21歳・23歳の青年が加入！ 平和共存否定の北鉄労を脱退！

信頼回復と再生へ結集呼びかけるJR北労組に2人が加入

JR北海道の安全と信頼が問われている危機的な状況の中で、信頼回復と再生に向けて奮闘しているJR北労組の運動と日頃の世話役活動や業務に対する姿勢への成果である。

この間、JR北労組は労働組合としてのチェック機能が十二分に発揮できなかったことを真摯に受け止め、11月17日にJR北海道の信頼回復と再生を期する『JR北海道再生プラン』を策定、内外に発表した。その取り組みの最中での組織拡大であり、勇気ある2人の決断に敬意を表する。

加入した2人は、その理由として「**結婚式問題など平和共存否定方針はおかしい**」「**職場で真面目に働くJR北労組の先輩の魅力**」を挙げており、2人を迎え入れたJR北労組苗穂工場支部が「社員間の親睦を図ることは、安全を確保する上でも大切なこと」を合言葉に、これまでの運動や世話役活動を実践してきた成果が現れた格好である。

今回の加入を受けて、JR北労組は「どこの組合が真面目に会社を再生させて、風通しの良い企業風土をつくり、利用者・道民からの信頼を得る取り組みを進めているのか誰の目から見ても明らか」として、良識ある他労組組合員に対し、JR北労組への更なる結集を呼びかけている。

国会でも取り上げられた「結婚式問題」

上記加入理由にも掲げられている、JR北海道労組の「結婚式問題」をはじめとする平和共存否定の運動については、11月22日のJR北海道野島社長を参考人招致した衆議院国土交通委員会でも議論が展開された。

平沢議員 JR北海道で一番強い組合 JR北海道労組、この組合は有名な話ですけれども他の組合を一切相手にしない、他の組合の者と休憩中でも話してはいけない、他の組合の者とは飲食もしてはいけない、結婚式にも出てはいけないと厳しい戒律がまかり通っているようですけれども、こういったことがまかり通れば当然のことながら職場での人間関係・あるいは連係プレーが出来るとは思いませんけれどもこういった組合の実態について野島参考人はご存じだったですか。

野島社長 JR北海道労組がそのような運動方針を掲げごく一部の職場でそうした事象があると聞いておりますがこのことによりまして現在会社業務遂行上問題があるという事象は無いと考えている。仮に発生した場合には厳正に対処していく所存でございます。